Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/11/07

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	37.31	-0.68
JPY/THB	0.2546	-0.0015
USD/JPY	146.62	-1.64
EUR/THB	37.17	0.15
EUR/USD	0.9957	0.0208
USD/CNH	7.187	-0.145
SGD/THB	26.54	-0.17
AUD/THB	24.16	0.27
USD/INR	82.44	-0.46
USD Index	110.88	-2.05

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,676.6	45.7
WTI (Oil)	92.61	4.44
Copper	8,099.0	538.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,626.32	0.70
NIKKEI (JP)	27,199.74	-463.65
DOW (US)	32,403.22	401.97
S&P500 (US)	3,770.55	50.66
SHCOMP (CN	3,070.80	72.99
DAX(GER)	13,459.85	329.66

Bond

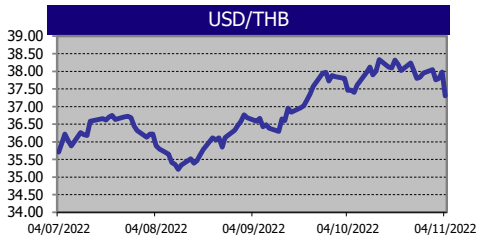
	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.674	-0.013
10Y (THB)	3.181	-0.005
5Y (USD)	4.331	-0.037
10Y (USD)	4.158	0.012

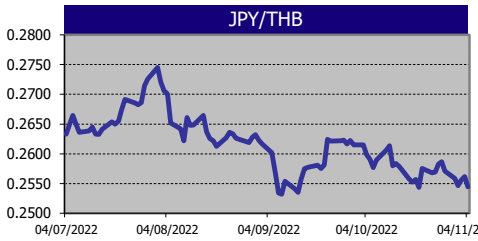
Fund Flow (Overseas Investors)

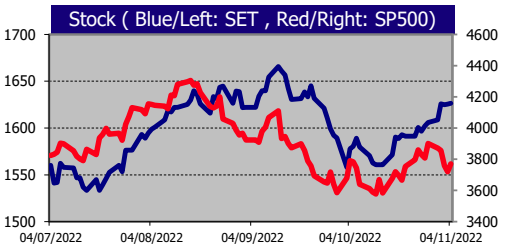
	Close	CHANGE
Stock net flow	832	-2197.3
Bond net flow	557	-3572.2

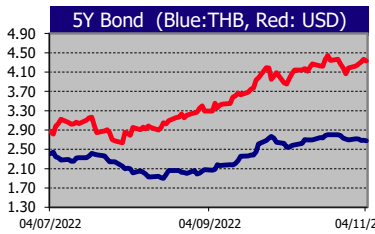
*compared with previous day

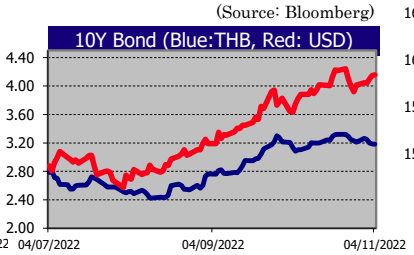
(Source: Bloomberg)

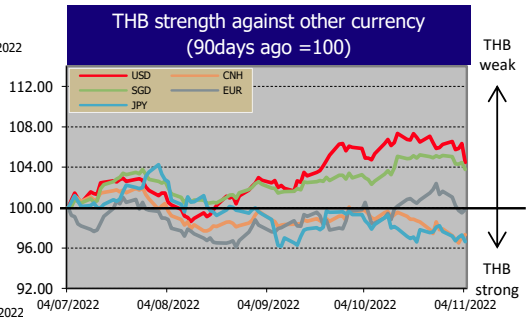


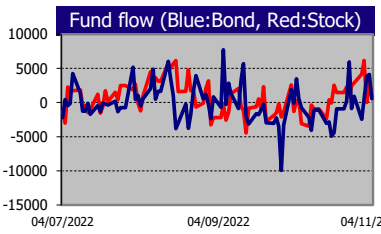


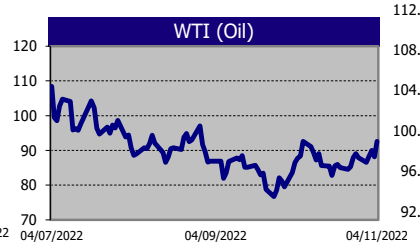












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

4日のドルバーツは大きく下落。38バーツ近辺で取引を開始し、中国における新型コロナ規制緩和への期待が高まる中で中国株の上昇が好感され、ドルバーツは下落基調。米10月雇用統計を控えていたが、バンコク時間終盤には37バーツ半ばへ下落。海外時間、米10月雇用統計発表後は雇用者数の伸びに反応して上昇するも、失業率上昇や平均賃金の伸び鈍化を受けて時間と共に再びドル売りとなり、37.31と約1カ月ぶりドル安水準で終えた。

●ドル円その他

4日のドル円は大きく下落。148円半ばで取引を開始し、日経平均の下落による円買いや米雇用統計発表前に調整が入ったためアジア時間終盤には147円後半で推移。海外時間、注目の米10月雇用統計発表後は一時148円を回復するも、詳細に確認していくとまちまちな内容だったために直ぐドル売りに転じ、米株高も手伝って146円半ばへと下落して越週した。

Bangkok Dealer's Eye

足許は約1カ月ぶりのドル安水準とドルバーツの調整が進んでいます。先週は中国でのコロナ制限の緩和期待はもちろんバーツにとって好材料でしたが、米11月FOMC、及び10月雇用統計というビッグイベントを2つこなし米政策金利の利上げペース鈍化が意識されてドル安を牽引していると思います。そもそも、堅調な米雇用市場があることでパウエル議長らメンバーはかなり強気な利上げを行ってきましたが、先週末の雇用統計は雇用者数や賃金の伸びが鈍化していて、利上げの影響は遅行して確認できるとしたパウエル議長の発言を裏付けるような内容でした。一方、労働市場は売り手市場で賃金が伸びていることは事実であるため、特に賃金上昇の影響を受ける米国のサービス価格は上昇が続いていて、引き続き物価上昇の要因となります。そのため、今週10日の米10月CPIの結果を受けて引き続きドル高の調整局面が続くか、ドルが持ち直すかが分かれそうです。(鈴木)

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.